

米づくり情報（NO. 4）

令和4年7月7日

伊万里・西松浦地区農業技術者連絡会作物部会

1 気象概況（アメダス観測地：伊万里）

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時間	
		平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 mm	本年値 mm	平年値 時間	本年値 時間
6月	4	22.4	25.0	26.8	29.4	19.0	21.8	67.9	0.5	19.6	34.5
	5	23.1	25.4	27.1	28.1	20.0	23.3	85.9	95.0	16.0	5.7
	6	24.0	28.4	27.7	32.1	21.1	25.6	95.6	3.5	14.1	35.3
7月	1	24.8	27.4	28.4	31.7	22.0	24.4	97.6	9.0	15.6	26.0
	2	25.5	-	29.2	-	22.6	-	84.3	-	19.2	-
	3	26.1	-	30.0	-	23.1	-	59.0	-	23.5	-

【6月4半旬～7月1半旬の気象概況】

- ・気温は平年と比べ約2～4℃高く、日照時間は平年より多く推移した。
- ・6月28日に梅雨明けし、降水量は平年よりかなり少ない。

2 生育状況（7月6日）

項目 品種(設置場所)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	主稈出葉数 (L)	葉色 SPAD	概要
夢しずく 6/1 移植 東山代町脇野	本年値	60.1	459	10.1	42.4	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は、平年よりやや高い ・茎数は、平年より多い ・主稈出葉数は平年よりやや多い ・葉色は平年よりやや淡い
	平年値	56.5	356	9.7	43.6	
	平年比	106	129	+0.4	-1.2	
ヒノヒカリ 6/20 移植 松浦町桃川	本年値	19.8	153	5.9	45.4	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は、平年より低い ・茎数は、平年よりかなり多い ・主稈出葉数は、平年よりやや多い ・葉色は平年より濃い
	平年値	23.2	100	5.6	38.9	
	平年比	85	153	+0.3	+6.5	
たんぼの夢 6/16 移植 松浦町桃川	本年値	28.6	329	6.9	48.6	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は、平年より低い ・茎数は、平年よりかなり多い ・主稈出葉数は、平年よりやや少ない ・葉色は、平年より濃い
	平年値	31.7	212	7.8	43.6	
	平年比	90	155	-0.9	+5.0	

（耕種概要）

※夢しずくの耕種概要は稲作情報 No.1、ヒノヒカリ・たんぼの夢の耕種概要は稲作情報 No.3 を参照。

3 今後の管理

1) 山間早植え水稻（5月上旬移植）

・すでに幼穂形成期を迎えている。幼穂形成始期（幼穂長 1 ミリ）を迎えた圃場では、下表を参照し穂肥を施用する。（7/4 時点 5月9日移植で幼穂長約 1mm）

穂肥は、湛水状態で施用し最低 4 日間は止水し、落水しない。

・梅雨明けし、晴天が続いているため、落水を避け湛水状態を保つよう注意する。また、いもち病常発地帯では、発生状況をこまめに観察し、病斑が確認された場合は速やかに防除を実施する。

《夢しずく 穂肥診断基準》

幼穂形成始期の草丈(cm)	葉 色		施 用 時 期		穂肥施用量 (kg / 10 a)	
	群 落	SPAD-502	出穂前日数	幼 穂 長	窒素成分量	BB602
	3.0以下	34以下	22~20日前	1 mm	3.0	18 kg
73cm以下	3.0~3.5	38以下	20~18日前	2 mm	3.0	18 kg
	3.5~3.8 3.8以上	38~39 40以上	15~14日前 晩限は止葉抽出終了まで	10~15mm	1.5~2.0 1.0以下	10~12kg 6 kg
73~79cm	3.0~3.5 3.5~3.8 3.8以上	34以下 38~39 40以上	20~18日前 15~14日前	2 mm 10~15mm	1.5~2.0 1.0	10~12kg 6 kg
80cm以上	原 則 と し て 施 用 し な い					

【穂肥診断の方法】

- ①幼穂形成始期頃の草丈を測る。
- ②葉色（群落・SPAD 値）を測る。
- ③上記①②の測定値を診断指標に当てはめ、施用量を確認する。
- ④施用量を確認したら、基準の施用時期に穂肥を施用できるよう。

2) 普通期水稻「夢しずく」

【6月上旬移植】

- ・有効茎（1株当たり20本程度）が確保できた圃場から順次中干しに移行する。
- ・ガス対策として移植後15日、25日頃は夜干しなどを行い、根の活力を高める。
ただし、用水確保が難しい地域では落水せずに湛水状態を保つようにする。
- ・中干しは約1週間、土壌表面に軽い亀裂が入り、足跡がわずかにつく程度とし、中干し後は間断灌水を行う。なお、強い中干しとなった圃場（手が入るほどの亀裂がある）では、一端通水し、根をならしてから間断灌水に移行する。



参考 夢しずく茎数

左18本 右17本

（間もなく中干へ移行）

左29本 右23本

（ただちに中干へ移行）

3) 普通期水稻「たんぼの夢」、「ヒノヒカリ」等

- 分けつ期を迎えている。除草剤処理後 1 週間経過した圃場は浅水管理に移行し、莖数確保に努める。

※除草剤は、散布後 3 日経過すれば有効成分が土壤に吸着されるが、除草剤の処理層が破壊されないよう湛水状態（水尻を止水して湛水状態を保ち自然落水によって田面が見えても 1 週間は入水しない。）を保つようにする。ただし、均平が取れず田面が露出した部分がある場合は、1 週間後の雑草発生状態を確認し、早めに中後期剤等での防除を行う。



4) 共通

○病害虫防除

(いもち病)

- 7 月 5 日までの BLASTAM 情報（気象条件のみによって葉いもちの発生を予測するシステム）によると、伊万里では 6 月 22 日に葉いもちの感染好適条件が観測されている（好適条件が観測された 1 週間後に初発生や病斑数の急激な増加が予想される）。今後発生状況に注意し、進展型病斑が確認された圃場では、オリブライト粒剤等で速やかに防除を行う。
- 圃場内に放置されている補植苗は「いもち病」の温床になるためすみやかに除去する。



(ウンカ類)

- 佐賀市、嬉野市のトラップでは、6 月 22 日～27 日にかけて合計 118 頭のトビイロウンカの飛来が確認されている。梅雨が明けたものの、さらなる飛来の可能性があるため、引き続き発生状況に注意する。
- 防除時期については、今後の飛来状況や圃場条件（移植時期や品種、圃場の場所等）によってウンカ類の発生量が異なるため、注意深く圃場を観察する。

令和4年産水稻生育期間気象グラフ (アメダス：伊万里)

西松浦農業振興センター

